

第133回 豊見城市学童軟式野球大会 開催要項 (第1回 ホテルグランビュウ杯争奪学童軟式野球大会)

1. 目的 軟式野球に親しむ少年に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツクラブの振興を図ると共に21世紀を担う少年の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 共催 株式会社ホテルグランビュウ
4. 後援 豊見城市教育委員会
5. 期日 令和元年11月 2日(土)・9日(土)
6. 場所 瀬長島野球場
7. 開会式 令和元年11月 2日(土) 午前8時
集合場所：瀬長島野球場 A球場ライト側 集合時間：午前7時30分
8. 試合開始時間 1日目：午前9時30分(予定)
2・3日目：午前9時
9. 参加申込 申込書を、令和元年10月25日(金)午後5時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メールでも可 tomitai02@tomitaikyuu.org
10. 参加資格 (1)豊見城市に住所を有している児童で、構成し豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム(2019年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム)。
(2)2019年沖縄県野球連盟に登録しているチーム。
(3)2019年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(4)参加チームは、1チームとする(2チームの参加できない。)
11. 参加料 参加料4,000円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
※抽選会及び監督会終了後に徴収します。
12. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
13. 監督会及び抽選会 令和元年10月29日(火)午後7時00分
豊見城市社会福祉センター研修室 ※抽選会は、監督・主将のみ参加すること。
14. 表彰 優勝チームには、賞状・優勝旗・優勝盾、準優勝チームには、賞状・楯を、三位チームには賞状を授与する。
また、共催の株式会社ホテルグランビュウより、優勝チームには、優勝杯・メダルを、準優勝チームには、メダルを授与する。
なお、入場行進が堂々たる風格の2チームには行進賞を授与する。
15. 派遣 優勝チーム・準優勝チームは、12月に開催される沖縄県学童軟式野球大会に推薦する。

16. 運営方法 豊見城市スポーツ少年団役員及び各チームから推薦された審判員で大会を運営する（原則として、審判は、審判講習会を受講した者）。
審判に割り当てられたチームの責任者及び監督は、責任をもって審判を派遣すること。
審判に派遣された者は、審判ユニフォーム、審判用帽子、審判用スラックス紺又はグレー・黒の靴を着用すること。サングラスは禁止。

17. 試合方法 (1) 試合方法は、全試合トーナメント方式とし、7回までとする。
7回終了して同点の場合は、8回から特別延長戦を2回行い、それでも同点の場合は、抽選を行う。
(2) 試合時間制限は、1時間45分とする（但し、決勝戦を除く）。なお、1時間45分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず、直ちにタイブレーク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつかないときは抽選を行う。

※タイブレーク方式（特別延長戦）

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

- (3) 試合開始時間は、主審のプレイボールのコールからとする。
(4) 3回で10点差、5回で7点差の場合は、コールドゲームとする。
(5) 日没、降雨によるコールドゲームは、5回終了で成立する。
（但し、決勝戦を除く）。
なお、5回以前で中止の場合は、豊見城市スポーツ少年団事務局の指定した日時・場所において、継続試合を行う。
(6) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
(7) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。
(8) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球マルエスJ号とし、大会本部で準備する。
(9) 本大会は2019年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
(10) メンバー表は各チームで準備し、試合開始10分前に3部提出する。
準決勝、決勝は4部提出する。
(11) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
(12) ベンチに入れる人数は、本大会の申込書に記入した者で、選手20名・監督1名・コーチ2名以内・チーム責任者1名・マネージャー1名・スコアラー1名とする。但し、水分補強の補助員として2名まで入れるものとする。帽子は同一、服装はチームTなどを着用する。半パン、草履履きは禁止とする。
(13) 背番号は0番より99番迄とし、監督は30番、コーチは28,29番とする。主将は10番とする。
(14) ベンチ内でのサングラス禁止とする。
(15) ベンチ内へのイスの持ち込み禁止とする。
(16) 入場行進の際は、必ずチームユニフォーム・帽子を着用する。
~~(17) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には、健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試合時間に含めない。)~~
(18) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。（但し、4年生以下は50球以内）
(19) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。

第42回 豊見城市学童軟式野球低学年大会 開催要項

1. 目的 軟式野球に親しむ少年に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツクラブの振興を図ると共に 21 世紀を担う少年の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 後援 豊見城市教育委員会
4. 期日 令和元年 11 月 16 日（土）・24 日（日）
※第 133 回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
5. 場所 各小学校運動場
6. 開会式 令和元年 11 月 2 日（土） 午前 8 時
集合場所：瀬長島野球場 A 球場ライト側 集合時間：午前 7 時 30 分
7. 試合開始時間 午前 9 時（予定）
※第 133 回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
8. 参加申込 申込書を、令和元年 10 月 25 日（金）午後 5 時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メールでも可 tomitai02@tomitaikyuu.org
9. 参加資格 (1) 豊見城市に住所を有し、豊見城市内の小学校に在学している 5 年生以下の児童で構成し、豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム（2019 年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム）。
(2) 2019 年沖縄県野球連盟に登録しているチーム。
(3) 2019 年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(4) 参加チームは、1 チームとする（2 チームの参加できない。）。
10. 参加料 参加料 2,000 円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
※抽選会及び監督会終了後に徴収します。
11. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
12. 監督会及び抽選会 令和元年 10 月 29 日（火）午後 7 時 00 分
豊見城市社会福祉センター研修室 ※抽選会は、監督・主将のみ参加すること。
13. 表彰 優勝チームには、賞状・優勝旗を、準優勝・三位チームには賞状を授与する。
14. 運営方法 豊見城市スポーツ少年団役員及び各チームから推薦された審判員で大会を運営する（原則として、審判は、審判講習会を受講した者）。
審判に割り当てられたチームの責任者及び監督は、責任をもって審判を派遣すること。
審判に派遣された者は、審判ユニフォーム、審判用帽子審判用スラックス紺又はグレー・黒の靴を着用すること。サングラスは禁止。
15. 試合方法 (1) 試合方法は、全試合トーナメント方式とし、7 回までとする。

7回終了して同点の場合は、8回から特別延長戦を2回行い、それでも同点の場合は、抽選を行う。

- (2) 試合時間制限は、1時間30分とする(但し、決勝戦を除く)。
なお、1時間30分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず直ちにタイブレーク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつかないときは抽選を行う。

※タイブレーク方式(特別延長戦)

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

- (3) 試合開始時間は、主審のプレイボールのコールからとする。
(4) 3回で10点差、5回で7点差の場合は、コールドゲームとする。
(5) 日没、降雨によるコールドゲームは、5回終了で成立する。
(但し、決勝戦を除く)。
なお、5回以前で中止の場合は、豊見城市スポーツ少年団事務局の指定した日時・場所において、継続試合を行う。
(6) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
(7) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。
(8) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球マルエスJ号とし、大会本部で準備する。
(9) 本大会は2019年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
(10) メンバー表は各チームで準備し、試合開始10分前に3部提出する。
(11) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
(12) ベンチに入れる人数は、本大会の申込書に記入した者で、選手20名・監督1名・コーチ2名以内・チーム責任者1名・マネージャー1名・スコアラー1名とする。
(13) 背番号は0番より99番迄とし、監督は30番、コーチは28,29番とする。
(14) 入場行進の際は、必ずチームユニフォーム・帽子を着用する。
~~(15) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には、健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試合時間に含めない。)~~
(16) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。(但し、4年生以下は50球以内)
(17) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。

2019 年度 豊見城市学童軟式野球 4 年生以下交流大会 開催要項

1. 目的 軟式野球に親しむ少年に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツクラブの振興を図ると共に 21 世紀を担う少年の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 豊見城市スポーツ少年団
3. 期 日 令和元年 11 月 4 日（月）・23 日（土）
※第 133 回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
4. 場 所 瀬長島野球場・各小学校運動場
5. 開 会 式 令和元年 11 月 2 日（土） 午前 8 時
集合場所：瀬長島野球場 A 球場ライト側 集合時間：午前 7 時 30 分
6. 試 合 開 始 午前 14 時
時 間 ※第 133 回豊見城市学童軟式野球大会を優先して行います。
7. 参 加 申 込 申込書を、令和元年 10 月 25 日（金）午後 5 時までに、豊見城市スポーツ少年団事務局へ提出すること。メールでも可 tomitai02@tomitaikyuu.org
8. 参 加 資 格 (1) 豊見城市に住所を有し、豊見城市内の小学校に在学している 4 年生以下の児童で構成し、豊見城市スポーツ少年団に加入しているチーム（2019 年度豊見城市スポーツ少年団負担金を納付しているチーム）。
(2) 2019 年度スポーツ安全保険に加入しているもの。
※未提出のチームは、申込み時に、保険加入書の写しを提出。
(3) 参加チームは、1 チームとする（2 チームの参加できない。）。
9. 参 加 料 参加料 1,000 円を、豊見城市スポーツ少年団事務局へ納付すること。
※抽選会及び監督会終了後に徴収します。
10. チーム編成 チーム編成は、原則として自治会別とする。
但し、自治会でチーム編成できない場合、又は監督同士が同意した場合は、その限りではない。
11. 監督会及び抽選会 令和元年 10 月 29 日（火）午後 7 時 00 分
豊見城市社会福祉センター研修室 ※抽選会は、監督・主将のみ参加すること。
12. 表 彰 優勝、準優勝及び 3 位のチームに賞状を授与する。
13. 運 営 方 法 豊見城市スポーツ少年団野球部各チームでの大会自主運営とする。

14. 試合方法
- (1) 試合方法は、全試合トーナメント方式とし、5回までとする。
5回終了して同点の場合は、6回から特別延長戦を2回まで行い、なお、同点の場合は、抽選を行う。
 - (2) 試合時間制限は、1時間30分とする（但し、決勝戦を除く。）。
なお、1時間30分を超えて同点の場合は、新しい回には入らず直ちにタイブレーク方式とする。なお、2イニングを完了しても決着がつかないときは抽選を行う。

※タイブレーク方式（特別延長戦）

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

- (3) 試合開始時間は、主審の試合開始合図（プレイボール）からとする。
- (4) 得点差によるコールドゲームは3回以降で10点差とする。
- (5) 日没、降雨コールドゲームは5回終了で成立する（但し、決勝戦を除く）。
なお、5回以前で試合が中止の場合は、本部の指定した日時、場所において、継続試合を行う。
- (6) アピール権は監督及び当該選手に限り許される。
- (7) 監督会、抽選会及び開会式に参加しないチームは失格とする。
- (8) 開会式には、登録された選手が参加すること。
- (9) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球マルエスJ号とし、大会本部で準備する。
- (11) 本大会は2019年度公認野球規則により行う。
また、全日本軟式野球連盟学童野球に関する事項を適用する。
- (12) メンバー表はなしとする。
- (13) 選手間の試合中でのタイムは、1試合3回までとする。
- (14) 投手の投球制限については、健康維持を考慮し、1日5イニングまでとする。
- (15) 交流大会のため、野球をするにふさわしい服装とします。
- (16) 1イニングに10点入った場合は自動的にチェンジとなる。(10点ルール)
- (17) マウンドからホームプレート間の距離は16メートルとする。
※但し、3年生以下が投手する場合は、15メートルとする。
- (18) 入場行進の際は、必ずチームユニフォーム・帽子を着用する。
- ~~(19) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には、健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(但し、給水タイムは試合時間に含めない。)~~
- (20) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、1人の投手は、1日50球以内を投球できる。試合中に50球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (21) 捕手、控え捕手は、ファウルカップを着用すること。